



SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER

堺IPC PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン

特集「DX」

伝統の技×デジタルが紡ぐ新時代
職人たちの精緻な手仕事と伝統の技術の世界。
そこに「DX」を取り入れた企業を紹介。



この企業にこの人あり!

「切断のスペシャリスト」が語る
±0.1mmの精度を支えるチーム作り

SAKAIもの新発見

日本のアパレルを支える美しい刺繍



未来へつなぐ技術力 等身大のDXでつむぐ、ものづくりの技と魂

一步を踏み出した小さな変革が、職人魂を次の世代へとつなぐ。

**手書きからタブレットへ
めざすは属人化の解消**

「専門家の方は、当社がやりたいことに対する手順を丁寧に提示してくれました。まずは手入力だったタイムカードのデジタル化に着手。」

補助金の手続きについては堺市産業振興センターが申請を全面的にサポートしてくれたため、手書きだった日報のタブレット入力への移行にも踏み切ることができました。

新しい仕組みへの現場の抵抗や戸惑いはあると思いますが、慣れれば手書きより早く、管理もしやすくなります。データが蓄積されれば多角的な情報分析が可能になり、これからの仕事に大きく活かせる。そう確信しています。」

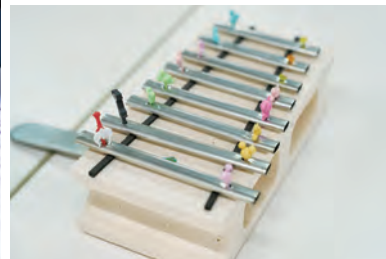
足元を固め始めた同社が次に挑むのは、長年の経験に頼ってきた「属人化している業務」のデジタル化。小居社長の眼差しは、さらなる未来のビジョンを見据えています。



長年手書きだった日報をタブレット入力へ。補助金サポートにより実現した品番や実績のデジタル化はデータとして蓄積され、これからのものづくりを支え、次世代へ技術を繋ぐ財産となります。



卓越した職人技と厳しい検品体制が、大手メーカーからの高い信頼を生む。



こども向けのイベントやオープンファクトリーも行う同社が作った薄肉ステンレスパイプの鉄筋。

経営のキモ

20代から60代まで幅広い年齢層の社員を抱える同社。小居社長は普段から仕事の話に留まらず、何気ない雑談などの日常会話から、社員たちの「本音」を丁寧にキャッチアップすることを心掛けています。この細やかなコミュニケーションこそが、デジタル化という新たな挑戦に対し、現場が安心して一步を踏み出せる強固な信頼関係を築いています。世代を超えて技と心を繋ぐ温かな風土が、同社の進化を支えています。



今月号の特集は
「DX」

伝統の技×デジタルが紡ぐ新時代
「DX」に「正解」はない。自社だけの
最適解を見つけた企業を紹介します。

0.3ミリの壁に挑む職人魂 株式会社ヤマトステンレス

代表取締役 小居 徹さん

薄肉のパイオニアが魅せる 職人技

国内大手ガス機器メーカーをはじめとする給湯器用煙突や部品を製造する株式会社ヤマトステンレス。その強みは創業35年以上で培われてきた0.3〜0.5ミリという極薄ステンレスパイプをオーダーメイドで製造・加工できる技術力です。

他社の追従を許さないこの「薄肉のパイオニア」としての職人技が、日本のインフラを陰から支えています。

システムはあるが……社長が悩んだ「DX」

近年よく聞く「DX（デジタルトランスフォーメーション）」ビジネスをより便利にするヒントにあふれてはいるものの、興味はあっても自社に取り入れるためには何から始めればよいのか、費用面やどこに相談

すればよいのかと考える企業も多いのではないだろうか。

「DXへの取組として何かしたいと思っていましたが、具体的に何をすればいいのかわかりませんでした。システム自体は導入してはいるものの、パッケージソフトの変更を依頼すると莫大な費用が掛かってしまうことも懸念点でした。」小居徹社長もそう深く悩んでいたと話します。

イベントが繋いだ「DX」への未来

答えが見出せないまま小居社長が赴いたのは堺商工会議所のイベント。その会場で堺市産業振興センターの職員から「DX」の専門家の派遣と、堺市中小企業デジタル化促進補助金を勧められます。これが同社の「DX」を具現化するターニングポイントとなりました。



伝統のプレス技術と緻密な手仕事で、高品質な部品を紡ぐ。



妥協なき品質管理がもたらした、高い信頼を物語る表彰状。

株式会社ヤマトステンレス

堺市中区新家町624番地
TEL.072-234-3106

設立:1981年設立 資本金:2,000万円
従業員数:17名
事業内容:薄肉溶接パイプ鋼管(ステンレス)の製造



HP



さかしる掲載ページ



切れ味の先へ——。 マック流、足元から始めるデジタルシフト

老舗包丁メーカーの挑戦。等身大のデジタルが未来を切り開く。

等身大のDXが起こした、組織の意識改革

「一番の収穫は、社員たちの意識の変化です。社内で自発的な打ち合わせや会議が始まったのは本当に大きな一歩でした。専門家の方からはデジタル化への課題抽出と解決方法や「弥生販売」の実践的な活用法のアドバイスを受け、自分たちの手で業務を効率化していく楽しさを知り、きっかけになったのです。今ではスプレッドシートを活用したクラウド上でのデータ共有が進み、私に確認しなくても現場が主体的に判断。社内のスピード感が劇的に変わりました。」

次なる舞台は岐阜工場。進化し続ける老舗

次の目標は岐阜工場の「DX」化。「初めから無理だと諦めず、一度専門家から話を聞いてください。社内から必ずアイデアが生まれ、圧倒的に仕事になります。」そう語る小林社長。老舗の挑戦は未来へ続いている。



60年の伝統と職人技が凝縮された、三徳包丁と波刃のペティナイフ2本セットの限定モデル。世界のシェフを魅了し続ける同社の包丁は、研ぎ澄まされた美しさと圧倒的な切れ味が誇り。



スマホから在庫確認ができるようになり、現場のスピード感が変わってきたと話す小林社長。



職人の魂が宿る美しい和包丁。この一丁一丁が世界のプロや家庭の料理を支えている。

経営のキモ

『Forbes』誌など世界のメディアも絶賛する同社の包丁。その背景には守るべき圧倒的な職人技への誇りと、小林社長の極めて誠実な経営哲学があります。目指すのは単なるビジネスを超えた「使う人の喜び」。良いものを愚直に創り、世の中へ広め、どこまでも正直な商いを行っていく……。伝統の切れ味を守りながら「DX」へ挑む老舗の根底には時代が変わっても決してブレない、熱き職人魂が息づいています。



今月号の特集は
「DX」

伝統の技×デジタルが紡ぐ新時代「DX」に「正解」はない。自社だけの最適解を見つけた企業を紹介します。

世界を魅了する、60年の技 マック株式会社

代表取締役 小林克人さん

海を越えた職人魂。世界に愛される一本

創業より日米で実演販売を展開し、アメリカのホームパーティー文化への適応やテレビショッピングで70万セットを販売するなど、マック株式会社は世界の家庭やシェフから認められている60年の伝統を持つ包丁メーカー。今も40年以上前に購入された包丁の修理を持ち込まれることがあるといいます。

紙の束と格闘する日々に訪れた転機

「当時は注文書も出荷指示書もすべてが紙で、オフィスには書類の山が築かれていました。保存場所にも限界があり、プリンターのリース会社から『これほど印刷している会社は他にない。』と言われるほどの印刷量でした。」

何より業務が属人化していたため、担当者が休むと作業が止まってしまう。家族経営の協力企業は伝票すらなく、どうしてもスピード感が落ち、本社と岐阜にある工場生産数や在庫数の誤差が生じてしまうことも課題でした。他社に比べてデジタル化への感度が遅れていることは、会社として大きな悩みだったのです。

伝統の技を守りながらも、どこから手をつければいいのか。デジタル化の必要性を痛感しながらも、その具体的な手法を見出せずにいた小林社長。その転機は堺市産業振興センターが行っている産業DX支援センター（P7参照）だったと話します。これをきっかけに同社は2025年4月から全6回の専門家の支援を受けることとなります。



驚異のしなやかさと強度。これこそが世界を魅了するマックの技。



世界各国の雑誌評価で最優秀を獲得、シェフ押し包丁。

マック株式会社

堺市堺区戎島町2-25 堂之本ビル3F
TEL.072-238-4071

設立:1965年設立 資本金:2,400万円

従業員数:24名

事業内容:堺打刃物・洋包丁の製造・販売(メーカー)



HP



さかしる掲載ページ





S-Cubeオープンファクトリー&カンパニー開催！ ～地域のベンチャー企業のワークショップ体験・職場見学～

- さかい新事業創造センター(S-Cube)では、2026年7月26日(日)に「オープンファクトリー&カンパニー」を開催します。本イベントは、地域の皆さまにベンチャー企業の取組を体験・見学し身近に感じていただくことを目的としています。
- 当日は、普段見ることのできない入居企業のオフィス・ラボの見学ができます。お仕事体験として、子どもたちが体験できる様々なワークショップを予定しております。体験や職場見学を通じて、社会課題に取り組む現場を体感していただけます。

例として以下のような体験をしていただけます。

- ・太陽光をエネルギーに変えてお湯をつくる体験
- ・廃材からオリジナル木材グッズの作成
- ・廃棄野菜から作られるジェラートの製造見学、試食会

昨年の様子



ジェラート製造見学



重心の計測



木材グッズ制作

- 日時 2026年7月26日(日) 10時～16時
- 会場 S-Cube(さかい新事業創造センター)
- 住所 堺市北区長曽根町130-42
- 対象 どなたでも自由に入館可能！
- 参加 無料(※一部事前申込、一部有料)

OPEN
FACTORY&
COMPANY

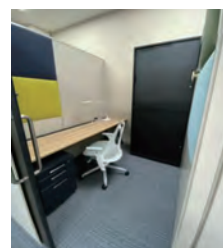
- S-Cubeは、創業間もない個人、法人や第二創業にチャレンジをする企業にオフィス・ラボに入居いただき、インキュベーションマネージャーが伴走支援を行い事業成長の支援を行うインキュベーション施設です。
S-Cubeではオフィス、創業準備デスクの入居者を随時募集しておりますので検討されている方は、お問い合わせください。



S-Cube外観



50.0㎡オフィス



創業準備デスク(個室)

お問合せ先: 株式会社さかい新事業創造センター(S-Cube)
〒591-8025 堺市北区長曽根町130-42
TEL.072-240-3775 ☎ info@s-cube.biz 担当: 西尾



INFORMATION

堺市産業振興センターからのお知らせ

時代と共に変化する企業の経営課題に挑む堺市内の中小企業の皆さまを
応援・サポートする当センターの各種支援事業やビジネス情報をご紹介します。

堺の未来は“つながり”から生まれる。 企業連携で、新たなビジネスを切り拓く「堺クロス」始動

「自社だけでは、ここまで来られなかった。」

大阪・関西万博に向けた取組の現場で、多くの企業がそう実感しました。異なる分野の企業が出会い、力を掛け合わせることで、新たな可能性が形になっていく。その中で見えてきたのは、「つながり」が新しい価値を生むという確かな手応えでした。

この気づきを一過性のものにせず、万博のレガシーを堺の企業活動へと広げていく。そのために立ち上げるのが「堺クロス」です。

堺市産業振興センターでは、市内企業の連携を促進し、共創が生まれる場を体系的に構築することを目的として、本事業を2026年9月より開始予定です。これに先立ち、2026年7月1日(水)より参加企業の募集を開始いたします。

本事業では、全5回程度の連続講座と対話型プログラムを実施し、企業同士の相互理解を深めながら、実践的な連携へとつなげます。また、グループワークやディスカッションを重視することで、単なる情報交換にとどまらない、継続的な関係性の構築を図ります。

さらに、講座期間中および終了後においても、継続的なコミュニケーションの機会を提供し、新たなビジネスやプロジェクトの創出へと発展する環境づくりに取り組みます。

堺には、多様な技術や強みを持つ中小企業が数多く存在しています。それらをつなぎ、新たな価値へと昇華させる「場」として、「堺クロス」は機能していきます。

対象企業

本事業の対象は、堺市内に本社または主たる事業所を有し、新製品・新サービスの開発や事業の高度化に向けて、企業間での実践的な連携に取り組む意欲のある企業です。

業種・規模は問いませんが、技術やサービスの開発機能を有し、共創による事業創出に主体的に関わる企業の参加を想定しています。

募集概要

- 募集期間: 2026年7月1日(水)～7月31日(金)
- 定員: なし

新しい出会いが、新しいビジネスを生む。
その第一歩を、「堺クロス」から踏み出してみませんか。

現在、参加企業を募集しています。詳細は二次元コード、またはURLをご確認ください▶
HP <https://www.sakai-ipc.jp/important/sakaicross/>



ミドル・シニアしごと応援プログラム

堺市では、多様な人材の活躍と市内企業の人手不足解消のため、ミドル・シニア世代(おおむね50歳以上)の就職活動と企業の人材確保・職場環境整備を支援します。

○ミドル・シニア人材雇用支援セミナー

市内企業を対象に、ミドル・シニア人材雇用支援セミナーを開催します。ミドル・シニア人材の強みや企業の取組事例、ミドル・シニア人材雇用に関する助成金等をテーマにし、ミドル・シニア人材が活躍できる職場環境整備を支援します。

○合同企業説明会

堺市内事業者とミドル・シニア求職者を対象にした合同企業説明会を開催します。

○お問合せ先

堺市雇用推進課 TEL.072-228-7404/FAX.072-228-8816 [✉ koyo@city.sakai.lg.jp](mailto:koyo@city.sakai.lg.jp)

※実施時期や事業の詳細は、決まり次第、堺市ホームページ等に掲載します。
HP <https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/wanttowork/middleseior/index.html>



堺優良従業員表彰・堺技能功労者表彰に係る推薦募集

堺商工会議所と堺市では、優秀な従業員・功労ある技能者を顕彰するため、共催表彰を10月6日(火)に開催します。対象となる従業員・技能者を、7月31日(金)までにご推薦ください。受賞者は堺優良従業員表彰・堺技能功労者表彰規程に基づく審査委員会で決定します。(推薦登録料が1名(グループ)につき、5,500円(税込)かかります。)

▼堺優良従業員表彰

- ① 永年表彰(勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、(以降10年毎))
本年10月1日付で上記勤続年数に達している者
※各表彰の受賞は一度のみ。さらに堺商工会議所会員事業所で勤続30年以上に該当する場合は、日本商工会議所会頭と堺商工会議所会頭の連名にて表彰します。
- ② 功労者表彰(総務・管理部門、販売・サービス部門、製造・技術・研究部門)
勤続年数を問わず、各部門で功労があった従業員
※再受賞については5年間以上の期間を有しなければなりません。
※製造・技術・研究部門につきましては、「産業ルネサンス表彰」もご検討ください。
- ③ 産業ルネサンス表彰
新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、堺市域経済の再生・発展に貢献したと認められる従業員またはグループ
※再受賞については5年間以上の期間を有しなければなりません。

▼堺技能功労者表彰

本市産業において、伝統産品製造など専門的技能を必要とする職で、下記①～③の要件をいずれも満たす者

- ① 技能の研鑽、後進の指導育成に努め、優れた技能をもって堺市の産業及び業界全体の振興・発展に貢献し、他の模範と認められる者
- ② 本年10月1日付けで、同一の職に通算15年以上従事している者
- ③ 各種業界団体・組合等の推薦を得た者
※再度の受賞はできません。

○お問合せ先 詳しくは堺商工会議所ホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせください。

堺商工会議所 TEL.072-258-5502/FAX.072-258-5580
堺市雇用推進課 TEL.072-228-7404/FAX.072-228-8816

HP https://sakaicci.or.jp/kouryu/yuryo_gino/



堺市中小企業デジタル化促進補助金

こんな方におすすめ

- ✓ 業務をデジタル化して効率化したい
- ✓ 人手不足対策としてITを導入したい
- ✓ 受発注管理をシステム化したい

補助対象例

業務管理システム(販売・在庫・顧客管理など)、AI、クラウドサービス等

補助内容

- ・補助率:1/2以内
- ・補助上限:100万円

対象者

堺市内に事業所を有する中小企業や個人事業主等

令和8年度堺市中小企業デジタル化促進補助金

詳細はこちら



産業DX支援センター

特徴

デジタル化やDXに関する悩みを専門家に無料で相談できます。

支援内容例

- ・DX導入に向けた課題整理、ITツール選定アドバイス
- ・業務改善・計画策定支援
- ・補助金活用サポート

特徴

- ・デジタルの専門家が貴社を訪問
- ・個別課題に応じた実践的なアドバイスを実施
- ・中長期のDX推進まで伴走支援

こんな企業におすすめ

- ✓ 何から始めればいいのか分からない
- ✓ IT導入に不安がある
- ✓ DXを進めたいが人材が足りない

産業DX支援センター

<https://www.sakai-ipc.jp/dx/>

堺市産業振興センターでは、補助金や専門家派遣を通じて企業のDXを力強く支援しています。まずはお気軽に下記お問い合わせご相談ください。



お問合せ先:公益財団法人堺市産業振興センター

経営支援課 担当:伊藤、池田、安田

TEL.072-255-6700 [✉ keiei_shien@sakai-ipc.jp](mailto:keiei_shien@sakai-ipc.jp)



職人の超精密な切断加工と、一つひとつ丁寧に作られる検品が生み出す高品質な金属パイプ。



地域に愛され、共に歩む証。「堺の大切にしたい会社」として認定された、誇り高き盾と認定証。



ムラカミ鋼管有限会社
代表取締役社長 村上 奈三さん



対話で紡ぐ、次世代を担う職人のチーム
高品質な加工を維持する鍵は、受注から検査に至る工程間のシビアな情報伝達にあると言います。「前回と同じ」が通用しないもの

「押しつけるだけでは人はついてこない」—— 鯛口専務のその温かな眼差しが、職人たちの自発的なプライドを呼び覚まし、同社の次世代を担う強固な組織を創り上げています。

難題への実直な奔走。心で勝ち取る信頼
同社の営業窓口を担う鯛口専務に対して、村上奈三社長はこう語ります。「どんな難題を持ち込まれても『なんとかしてやろう。』と奔走しています。その実直な姿勢に心を打たれ、顧客の多くが専務のファンだと思っています（笑）。」
企業の看板として、技術だけでなく「人」で信頼を築き上げています。

づくりの現場において、僅かな仕様変更を完璧に共有する伝達力こそが同社の生命線。鯛口専務はこの繊細な現場を率いるため、対話を重んじるマネジメントへと舵を切りました。「かつてのトップダウンを改め、日々の会話の中で共に考えることをこころがけています。さらに現場のメンバーだけで集う会議を新設し、主体性を育む環境も整えました。」

私のお気に入り

鯛口専務がオフ・タイムによく通われているのが深井にある和風創作料理「酒菜の肴 遊食家」。毎日全国から届く新鮮な魚をはじめ、旬の食材を豊富に取り入れているお店です。特に調理法を選べる魚は絶品！また、締め牛肉チャーハンも欠かせないそうです。

和風創作料理「酒菜の肴 遊食家」
堺市中区深井沢町3136 TEL:0120-18-3006
営業時間：【火～木、日、祝日、祝前日】17:30～翌0:00（料理L.O. 23:00 DR L.O. 23:30）
【金・土】17:30～翌1:00（料理L.O. 翌0:00 DR L.O. 翌0:30）
定休日：月（祝日の場合は翌日）



この企業に この人あり

堺のものづくりを支える「人」にスポットを当て、その情熱と挑戦のストーリーに迫ります。



ムラカミ鋼管有限会社

専務取締役 鯛口 真 さん

（写真右）

トップダウンを脱し、共に考える現場へ
ミリ単位の先をゆく、職人の矜持と挑戦
鉄やアルミ、ステンレスなど多種多様なパイプの切断・面取り加工を手がけるムラカミ鋼管有限会社。主な供給先は、高い品質が求められる自動車業界や建設機械から農機具、半導体製造のための機械まで多岐にわたります。
通常はプラスマイナス1.0ミリとされる全長の許容誤差を、独自の技術でプラスマイナス0.1ミリにまで抑え込む精密な切断加工が最大

ムラカミ鋼管有限会社
堺市中区毛穴町38番地1
TEL.072-272-0141

【事業内容】
各種鋼管の切断加工および卸売事業
●設立／1966年創業 2004年設立
●資本金／800万円 ●従業員数／41名
●事業内容／各種パイプの販売、切断加工面取り加工



HP



さかしの掲載ページ

の強み。この驚異的な高精度を叩き出す職人の矜持が、現代の先端テクノロジーの進化を支えています。
「無理」を断らない、技術を磨く飽くなき挑戦
今は亡き先代社長のもとで、厳しく職人魂を叩き込まれ、現場視点から同社を支え続ける鯛口真専務。
「まずは品質第一。今の時代はお客様の要求も厳しく、微細な鉄粉の付着さえ許されません。次に重視するのは地道な納期対応。それが次の受注への信頼に繋がります。」
機械自体は何十年も変わりませんが、『無理』と断らず『一回やってみよう』と挑戦を重ねた結果、かつては2.5ミリが限界だった切断長さを現在は、2ミリまで可能にしました。」



株式会社神田刺繍工房

堺市中区伏尾22-13

TEL: 072-279-0743

- 設立/1971年設立
- 資本金/1,000万円 ●従業員数/12名
- 事業内容/婦人服等の刺繍

2026年7月～9月末頃まで堺市産業振興センター1F
「さかいモノてらす」で展示予定



HP



さかしの掲載ページ

株式会社神田刺繍工房

「これが刺繍!？」

布上に描かれる針と糸による無限の立体美

婦人服メーカーや OEM 企業に向け、刺繍の企画から製造までをワンストップで行っている株式会社神田刺繍工房。週に一度は図案の企画提案を行い、技術面では、一度に10枚を製造できるミシンを駆使して量産にも対応しています。刺繍糸はもちろん、ガラスビーズや自社で型抜きを行ったスパンコールなどを縫いつけて美しく立体的な表現ができる技術は同社ならではの。現場を支えるのは、ものづくりを心から愛するベテラン職人たちです。堺の地で55年。ファストファッション全盛の今、高品質な刺繍の価値はより高まっています。近年は婦人服の枠を超え、ブローチ製作やテレビ通販、SNSで発信するデザイナーとの協業など新分野へも挑戦中。

「誠意を持ってお客様に対応する。企画力も大事ですが、相手の想いに真摯に応えたい」と角谷久仁子社長。その温かな情熱が、新たな美を発見し続ける原動力です。